

小論文グランプリ応募に関するQ & A（令和6年度版）

Q1 【小論文】を書くことで、どんな力がつくのですか？

「小論文」とは、あるテーマ（主題）に沿って自分が考えたことを、説得力をもって読み手に伝えていく文章です。そのためには自分の考えの根拠を明らかにし、順序を考えて文章を組み立てるといった論理的思考力が求められます。それ以外にも、読解力、表現力、独創力、構成力など、総合的な学力が身につくこととなります。

Q2 対象学年は？

京都府内（京都市を除く）の中学校3年生又は2年生、義務教育学校後期課程9年生又は8年生です。

Q3 どんなことを書けばいいのですか？

「学び」（学習・活動・体験等）によって気づいたこと・向上したことです。教科・領域で学習又は体験した内容（以下の3分野から選んでください）を題材とします。ただし部活動は対象外です。

- (1) A分野（国語、社会、数学、理科、外国語）
- (2) B分野（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）
- (3) C分野（道徳、特別活動、総合的な学習の時間）

Q4 学校で何点まで提出できるのですか？

5点以上20点以下の文集作品を綴じて応募してください。

※3分野（A、B、C）とも含まれるのが望ましい。

※応募票（様式1）を必ず添付すること。

Q5 文集作品は応募せずに個人作品の部だけに応募できますか？

できません。応募は学校ごとの文集の作品です。個人作品の審査は文集作品の中から（様式1）で希望があった作品がエントリーされます。3分野（A、B、C）各1点までエントリーできます。

Q6 提出するとき注意することは？

作品は、A4サイズ400字詰め原稿用紙3枚（1,000字から1,200字）に書き、題名・学校名・学年・氏名は、原稿用紙1枚目の右端（余白）に必ず明記するようにしてください（原稿用紙の升目内には書きません）。

注意！：

※応募された個人作品・文集作品とも返却はできませんので御了承ください。

※作品は未発表で自作のものに限ります。

※作品の書き方等の詳細については、昨年度「入賞作品集」冊子の資料「小論文の意義・小論文を書くための手引き」を参考にしてください。